

政策 06 活力あふれるまちづくり

施策 03 農業の振興

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
大都市近郊の立地という特性を活かした農業が振興しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	農地の利用集積面積 (ha)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【公園農政課】	50.4	51.5	50.8	66.0
評価	(状況) 利用集積が進んでいる一方、農地の購入等があったことから、全体では0.7ha減少した。 (原因) 城前町の農用地で担い手ではない第三者が農地を購入した影響により、面積が減少した。					☔️ (低下)
						目標達成度 (---)

指標	地域特産品の出荷量 (t)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【公園農政課】	11.2	9.9	9.2	20
評価	(状況) 出荷量は0.7t減少した。 (原因) 新規就農者の出荷量は年々増加しているが、一方で既存農業者の出荷量が年々減少しており、全体としては減少した結果となった。					☔️ (低下)
						目標達成度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	農業振興地域における農地面積 (ha)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【公園農政課】	107	101.9	105.9	92	(横ばい)
評価	(状況) 農振地域における農地面積は105.9haに増加した。(+ 4ha) (原因) 農振地域における農地転用面積が少なかったこと、農業振興地域整備計画の全体見直しに係る基礎調査を実施して精査したため。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業01 農地の保全

指標	農地保全が必要と思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【公園農政課】	76.2	77.5	-	80	(比較不可)
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
						(比較不可)
						目標達成度
						(...)

基本事業01 農地の保全


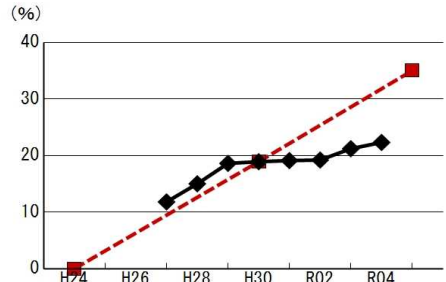

指標	耕作放棄地の面積 (ha)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【公園農政課】	3.4	2.6	2.4	2.3	(向上)
評価	(状況) 農地利用最適化のため、農地パトロールを実施し、農地中間管理事業の活用等により解消を図った結果、0.2ha減少した。 (原因) 積極的に農地中間管理事業を活用するなどしたため。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(...)

基本事業02 農業基盤の充実


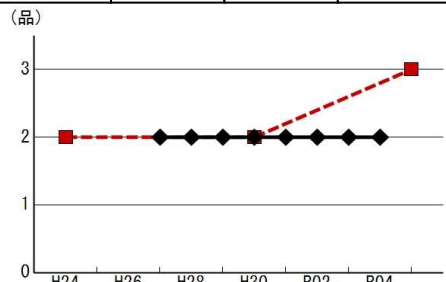

指標	認定農業者数 (人)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
	【公園農政課】	4	4	4	4	(横ばい)
評価	(状況) 認定農業者の変更はなかった。 (原因) 認定農業者の高齢化や後継ぎがない等の課題はあるため、認定新規就農者の3名に将来的に認定農業者として定着できるように支援を続けていく。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(達成)

基本事業02 農業基盤の充実


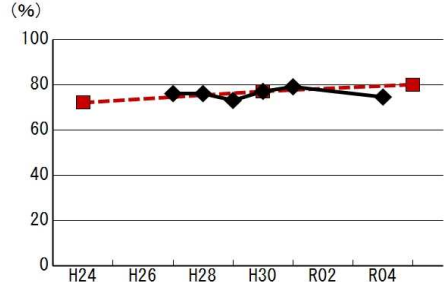
グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	用水路の改修率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【公園農政課】	18.9	21.2	22.3	35	
評価	(状況) 用水路改修を順次進めているが、目標値までは達成できていない。 (原因) 目標値も考慮しながら長期的な計画を策定し、目標値に向かって改修を進めているが、他の工事との兼ね合い等もあり、改修率の伸びは小さい。					対 前年度
						
						目 標 達成度
						(---)


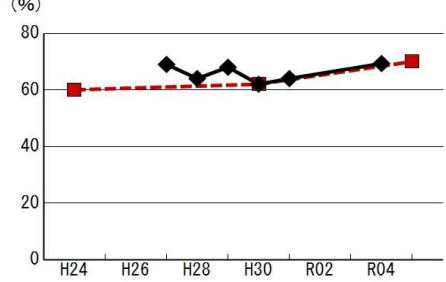
基本事業03 都市型農業の推進

指標	地域特産品の数（品）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【公園農政課】	2	2	2	3	
評価	(状況) 現在、特産品はいちじく、プチヴェールの2品であり、品数に変更はない。 (原因) ヤーコン、ネギなど新たな特産品ができるようPRし始めている段階である。					対 前年度
						
						目 標 達成度
						(---)

基本事業03 都市型農業の推進

指標	消費者の特産品の認知度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【公園農政課】	77	-	74.5	80	
評価	(状況) 市民祭、農業まつりでアンケートを実施し、令和元年と比べると4.5ポイント減少している。 (原因) 令和元年は楽農まつりでアンケートを実施したことから、若干対象者の違いがあるかもしれない。また、いちじくの認知度が88%に対し、プチヴェールが61%と低いことが影響している。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業03 都市型農業の推進

指標	地産地消を心掛けている人の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【公園農政課】	62	-	69.3	70	
評価	(状況) 市民祭、農業まつりでアンケートを実施し、令和元年と比較して5.3ポイント増加した。 (原因) 地産地消が学校でも教えられるなど、社会に周知されつつあることで認知度が上がっている。					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業03 都市型農業の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	農業体験をしたことがある市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		【公園農政課】	26.3	18.2	-	35
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)